

第1回 まずは相手の正体を知ろう。イノシシ・シカ対策の第一歩

農研機構 畜産研究部門 動物行動管理研究領域 堂山宗一郎氏

皆さま、初めまして。堂山と申します。私はイノシシやシカの行動を調べ、それを元にした被害対策の手法や技術に関する研究をしています。数年前まではイノシシ被害が30年以上前から発生する西日本の中国地方を中心に仕事をしていましたが、縁あって岩手県のイノシシやシカ対策にも関わることになりました。

全国的にイノシシとシカによる農作物被害が問題になっています。一方で上手に対策をして、被害を軽減またはゼロにしている地域もあります。このような地域では、闇雲に対策をするのではなく、まずは相手となる動物のことを皆で勉強し、その正体を知った上で対策をしています。この連載では、イノシシやシカがどういう生き物なのかを皆さんに知っていただき、それを踏まえた効果的な対策をご紹介します。

手始めに、イノシシの学習能力がどのくらいかご存知でしょうか？私はイノシシを10頭ほど飼育していました。そのイノシシ達にいくつかの学習能力テストを受けてもらったことがあります。その結果、類似のテストが行われたウシやウマ、イヌとイノシシの成績はほぼ同じでした。動物の種類によって得意不得意はありますが、皆さんの家のイヌとイノシシは同程度のことをこな

せる生き物だと思ってください。ちなみに私が飼っていたイノシシは、お座りの芸を10分もかからずにできるようになりました。高い学習能力は被害拡大の要因にもなりますが、それを逆手に取れば被害を止める有効な対策にもつながります。

